

日本農業工学会第145回理事会議事録

日 時：平成26年 4月3日(木) 15:00～17:00
場 所：東京大学農学部7号館7階会議室

出席者：大政会長、中副会長、村瀬副会長、荊木理事、大下理事、東城理事
田川理事、岸田理事、三澤監事、町田事務局長
事務局：野口理事、石田監事

議事録

1. 第144回理事会議事録が承認された。
2. 25年度決算及び平成26年度予算案について
25年度決算について事務長から説明と石田監事から監査報告があった。監査の指摘事項は次年度改善することとし、決算は理事会で承認された。新年度予算案について事務局長から説明があり承認され、総会に付託することになった。
3. 規約改正について
新賞細則12条の改正及び第30回総会、記念式典、祝賀懇親会のスケジュール案が提案され、シンポジウム開始時間、終了時間の変更の他は当日の役割・分担が承認された。
4. 平成25年度フェローの推薦状況について
中フェロー選考委員長から3日開催のフェロー選考委員会の結果が報告された。25年度フェローに13名の推薦をすることとなった。
5. 30周年記念シンポジウムについて幹事学会の農業農村工学会・農村計画学会から中理事より趣旨、発表内容の説明があり了承された。
6. 30周年記念功績賞について、各学協会からの推薦結果が提案され、審議の結果14名の方の記念功績賞の授与を決定した。
7. 正会員会費の変更について、144回理事会の審議結果の最終確認がなされ、会費の均等割分を1万円値上げし3万とすることで了承された。
8. 日本農業工学会賞の創設について
会長より30周年記念とし新たな顕彰(日本農業工学会賞)の趣旨説明があり、了承された。顕彰の趣旨を徹底するために今後内規の整備を行うこととした。初年度は歴代会長に授与することで、今後、選考規則、内規などを整備することがきまった。
9. 規約改正と顕彰選考規則の制定
細則12条を変更し、日本農業工学会賞の顕彰を追加した。また顕彰選考規則(案)が事務局より提案された。継続審議とし、次回146回理事会で最終確認をすることとなった。
10. CIGR 円卓会議の共同主催について
日本学術会議 CIGR 分科会委員長の野口理事から資料に基づき、円卓会議の説明があり、共同主催と参加要請があり、了承された。
11. 第1回日本農業工学会賞について審議し、歴代会長を推薦することになった。
12. 名誉顧問の委嘱 歴代会長でまだ名誉顧問になっていない方に会長より委嘱することが決まった。
14. 財務の暫定処置
144回理事会で決定した事項についての暫定措置について会長からその経緯の説明があり、承認された。
15. 第30回総会議案書案について
暫定版議案書案の説明が事務局長からあり、主に25年度事業報告、26年度事業計画の説明があった。決算予算を含め次回理事会の継続審議となった。
16. その他
次回146回理事会、平成26年 5月13日(火)10:30～11:20
場所：東京大学弥生講堂 会議室